

水・空気・緑・大地と市民活動をよくする会

活動紹介

■活動場所

市内一円。特に、足見川流域及び桜地区の太陽光パネルの調査

■活動日、活動頻度等

春、夏、秋、冬の様子を調べている

塩浜街道の街路樹とその他の街路樹の変化を見る

森林の減少の観察



《桜地区 民家の前はパネル設置を回避》

■活動内容など

◎足見川流域の森林変化について

山田地区、小林地区などの太陽光発電工事では、想定のように大雨で土砂崩れが起き、田と水路に土砂が流れ込んだ。災害は中規模であったが、今後は大規模の災害が起きそうと予見できる。

林の伐採については、今の所樹木の一部を残してはいるが、大きな鳥が好むような大きな樹木は、伐採された。したがって、私たちが心配している営巣できる樹木が意図的になくされた。サシバは3月末から、わたってくるので2020年の3月、4月に、渡り鳥であるサシバがどうなるか、危惧している。

◎足見川の氾濫

足見川流域の開発によって、大雨の際、一度に大量の雨水が流れる。川には大量の土砂が堆積し、内部中学校の下では川がカーブしているため、水が遠心力で堤防を越えそうになる。過去には、橋のたもとで越水している。川底には、大量の砂が堆積して浅い川となった。采女の田んぼに流れた。大きな被害が起きそうに思える。

◎桜地区では、工事業社との交渉があり、民家の周りのパネル設置は、回避できた。

多数の当事者と工事業社との交渉により回避を実現できた。

代表者の想い

◎貴重な森林、川、谷、田畑、生き物は、市民生活に不可欠です。自然を破壊すれば、人間への大きな災害となって、わが命を削ります。地球自然の中で命を営む人間ですから、森林、川、谷、田畑、生き物は、わが体の一部です。自らの命を削るような行為は、やめてほしい。行ってはいけないのです。自然の一部でも、なくなれば、我が体の一部が切り取られるのです。人は自然の中でしか生存できないのです。

◎他の団体様も活躍されていて、あり難いです。気になるのは、高齢者の活動が減少していることです。